

## 就職みらい研究所

2019年7月30日  
株式会社 リクルート キャリア

### 【2020年卒 TOPIC】 学生の入社意欲を最も高めるのは「面接」 学生が求めているのは「一人ひとりに向き合ったコミュニケーション」

株式会社リクルートキャリア（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：小林 大三）のよりよい就職・採用の在り方を追究するための研究機関・就職みらい研究所（所長：増本 全）は、大学生・大学院生を対象に調査を実施しております。本リリースでは、「就職プロセス調査（2020年卒）2019年7月1日時点内定状況」にて聴取した「入社意欲の高まり」について分析しレポートいたします。

#### 学生が面接担当者に求めるのは「一人ひとりに向き合ったコミュニケーション」



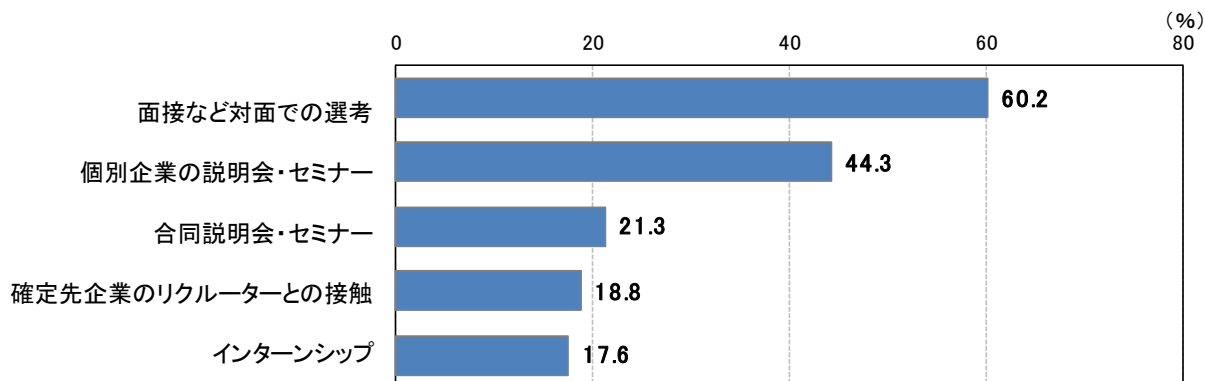
空前の売り手市場の中、学生の内定辞退の割合は年々上昇しています。企業も内定フォローに時間をかけ工夫していますが、内定辞退に歯止めが効かず、頭を悩ませているという声を多く聞きます。(P2)

では、学生の入社意欲を高めるためにはどうしたらよいのでしょうか。就職先を確定した大学生（大学院生を除く）に対し、入社意欲の高まった情報や企業との接触について尋ねたところ「面接など対面での選考」が60.2%と最も高い結果となりました。企業が学生を見極める場として、語られることの多い面接ですが、学生も、企業を見極める場として活用しています。(P3)

また学生に聞いた「理想の面接担当者像」からは、学生一人ひとりにしっかり向き合い、話を聞いたうえで、自分の新たな魅力を引き出したり、ときには悪いことも指摘できるといった人物像が浮かび上がりました。このことから、学生一人ひとりに向き合ったコミュニケーションをしていくことで、学生の入社意欲を高めていくことができるといえそうです。(P5)

#### 就職確定先の入社意欲が高まった情報や企業との接触 ※P3より一部抜粋

大学生\_全体（就職志望者・就職確定者/複数回答）※大学院生除く



【本件に関するお問い合わせ先】

株式会社リクルートキャリア 広報部 社外広報グループ  
TEL : 03-3211-7117 MAIL : kouho@waku-2.com

## 就職内定辞退の動向

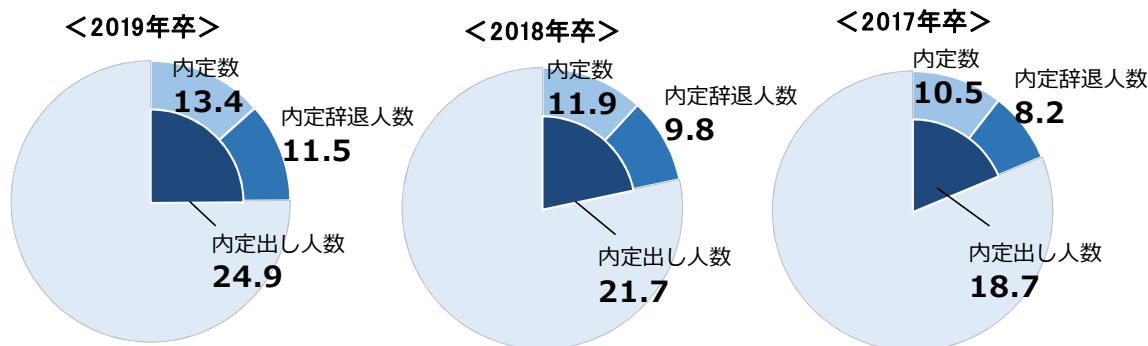
### 内定辞退の割合は年々上昇、学生の辞退理由は「他社の内定取得」が半数近く

- ・『就職白書2019』（企業調査）によると企業の「面接人数」を100とした場合、「内定辞退人数」の割合は2017年卒は8.2であったが、2019年卒では11.5に上昇している。
- ・学生の辞退理由をみると「他に志望する企業の内定を取得した」は45.0%。次いで「年収が低い」が18.7%である。

### 参考データ

#### 「面接人数を100」とした場合の内定出し人数および内定数の割合

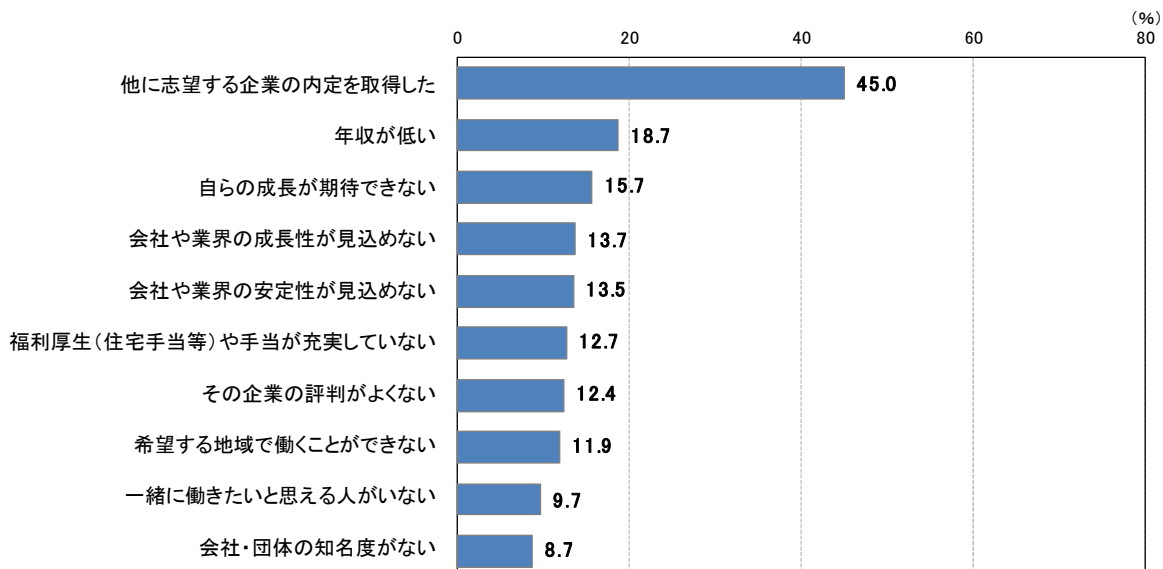
(面接から内定まで全回答企業/実数回答)



※出典：就職みらい研究所『就職白書2019』データ集 (P10)

#### 就職内定辞退の理由（上位10項目抜粋）

大学生\_全体（就職志望者・就職内定辞退経験者/複数回答）※大学院生除く



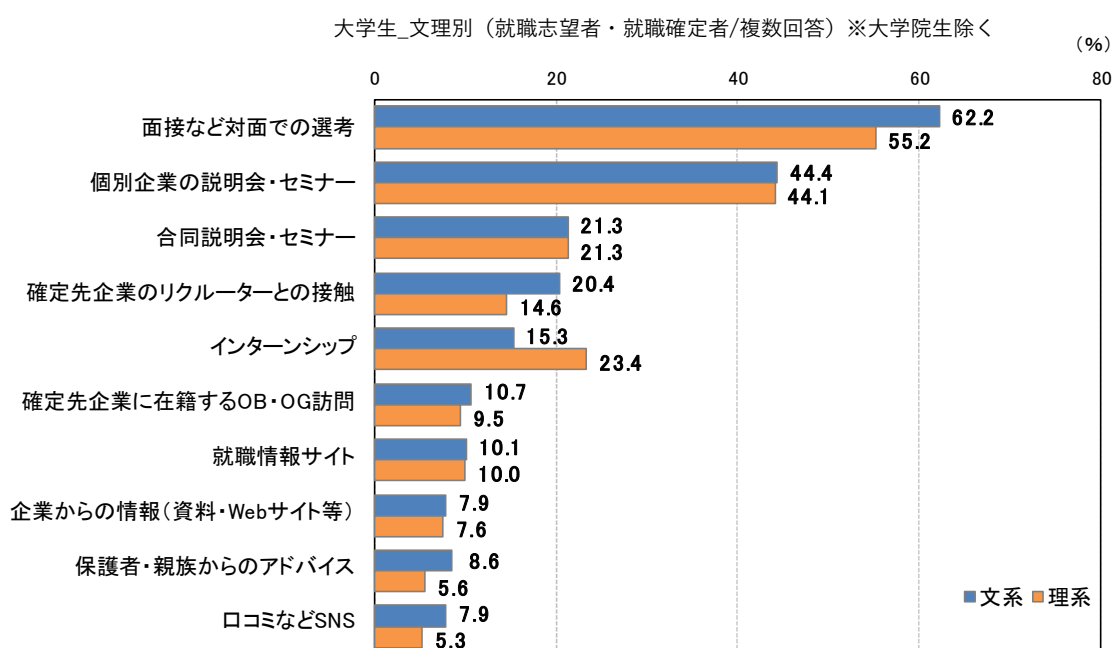
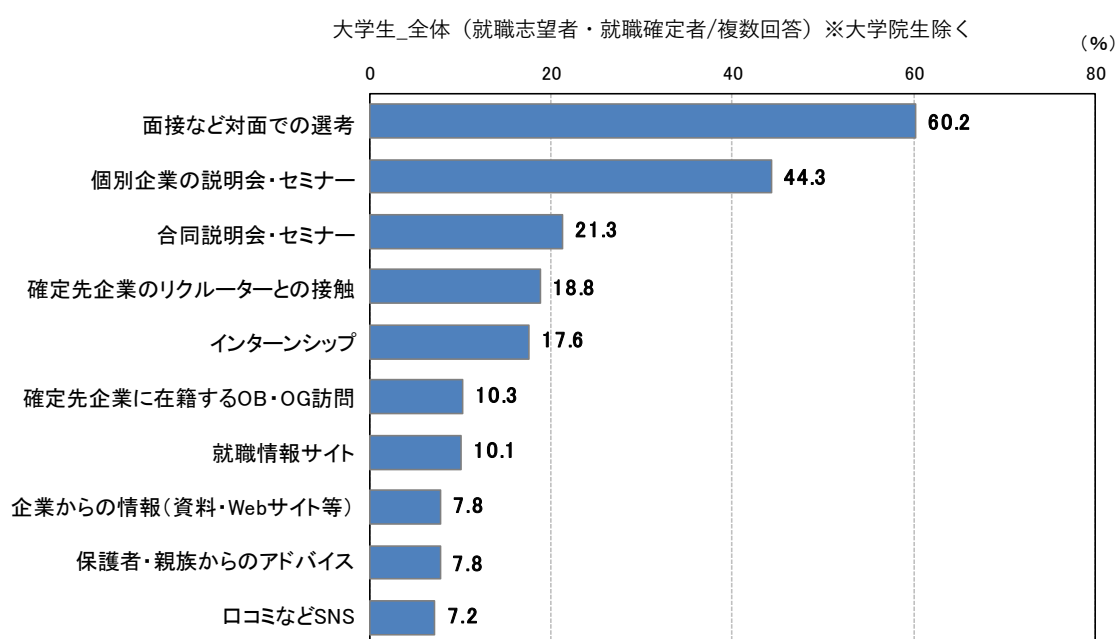
## 就職確定先の入社意欲が高まった要因

### 「面接など対面での選考」が最も高い

就職先を確定した大学生（大学院生を除く）に対し、入社意欲の高まった情報や企業との接触について尋ねた。

- ・「面接など対面での選考」（60.2%）が最も高く、次いで「個別企業の説明会・セミナー」（44.3%）「合同説明会・セミナー」（21.3%）の順。
- ・文理別の違いを見ると、文系は「面接など対面での選考」「確定先企業のリクルーターとの接触」が理系と比べ高く、理系は「インターンシップ」が文系と比べ高い。

### 就職確定先の入社意欲が高まった情報や企業との接触（上位10項目抜粋）



## 就職確定先の入社意欲の変化

### 約4人に1人が、就職活動中に就職確定先企業の志望度が上昇

就職先を確定した大学生（大学院生を除く）に対し、就職確定先の「就職活動開始時点」と「7月1日時点」の入社意欲について、それぞれ聴取した。

- ・57.2%の学生が「就職活動開始時」での「第一志望群」の企業に就職先を確定させている。
- ・「就職活動開始時」と「7月1日時点」で就職確定先の志望度が上昇した学生は26.1%であった。

### 「就職活動開始時」と「7月1日時点」における就職確定先の入社意欲

大学生\_全体（就職志望者・就職確定者/単一回答）※大学院生除く

N=1010		7月1日時点					就職活動開始時合計
		第一志望群	第二志望群	第三志望群	受けるつもりはなかった	その他	
就職活動開始時	第一志望群	55.4%	1.7%	-	-	-	57.2%
	第二志望群	14.3%	14.7%	0.2%	-	-	29.1%
	第三志望群	1.6%	1.6%	1.4%	-	-	4.6%
	受けるつもりはなかった	1.5%	0.4%	0.3%	0.1%	-	2.3%
	確定先企業の存在を知らなかった	4.6%	1.9%	0.1%	0.4%	-	6.9%
7月1日時点合計		77.4%	20.2%	1.9%	0.6%	-	

※  は、就職活動中に志望度が上昇（合計26.1%）

## 理想の面接担当者像

## 学生が面接担当者に求めるのは「一人ひとりに向き合ったコミュニケーション」

大学生（および大学院生）に対し、「理想とする面接担当者像」について聴取した。

面接担当者に対し「話を聞いてくれる」「掘り下げてくれる」「真摯」などを求める内容がみられた。

## 理想の面接担当者像

大学生・大学院生\_全体（就職意向者/自由回答）※コメントは一部抜粋

理想とする面接担当者像	文理	男女	大学生／ 院生
自らに1番必要なことを自分で上手く考えさせてくれる機会を与えてくれる。	文系	男性	大学生
熱く誰とも真剣に向き合うことができるとともに、冷静に分析し相手に寄り添った思いやりと落ち着いた対応ができる人。	文系	男性	大学生
どんな時でも、全ての人に対してしっかり話を聞いて、受け答えしてくれる人。	文系	女性	大学生
自己PRや何らかの応答にリアクションをしてくれる。ちゃんと聞いてくれている。	文系	女性	大学生
高圧的になることはせずに、しっかりと深掘りしてくれ、会話の様なペースで自分の言いたいことを真剣に聞いてくれる人。	文系	女性	大学生
真摯に話を聞き、さらにフィードバックもしてくれる。	文系	女性	大学生
鋭い質問や、観念についての聴取。自己理解にも繋がりそう。	理系	男性	大学院生
真剣に話を聞いて、的確に掘り下げをしてくれる人。	理系	男性	大学院生
重い雰囲気だけでなく、気さくに質問を投げかけてくれる人。	理系	男性	大学院生
自分の本質や考えていることを見抜いて鋭い質問をしてくれる人。その会社に向いていなかったら落とされるが、面接の中で新たな気づきを得られたり、よりよい選択につながると思う。	理系	女性	大学院生

## 調査概要

---

- 調査目的 | 大学生・大学院生における就職活動の実態を把握する  
調査方法 | インターネット調査  
集計方法 | 大学生については、性別、専攻、所属大学の設置主体をもとに、実際の母集団の構成比に近づけるよう、文部科学省「学校基本調査」の数値を参照し、ウェイトバック集計を行っている

### 2020年卒：2019年7月1日時点

---

- 調査対象 | 2020年卒業予定の大学生および大学院生に対して、『リクナビ2020』（※）にて調査モニターを募集し、モニターに登録した学生6,395人（内訳：大学生5,267人/大学院生1,128人）  
調査期間 | 2019年7月1日～7月8日  
集計対象 | 大学生 1,584人/大学院生 503人  
※リクナビ：株式会社リクルートキャリアが運営している、就職活動を支援するサイト  
<https://job.rikunabi.com/2020/>

### モニターの抽出条件

---

「卒業後の志望進路（志望する進路のすべて）」の回答状況をもとに、次の条件で対象を抽出

**本調査対象 = 「就職意向者（就職志望者 + 志望進路未決定者）」（※モニター募集時）**

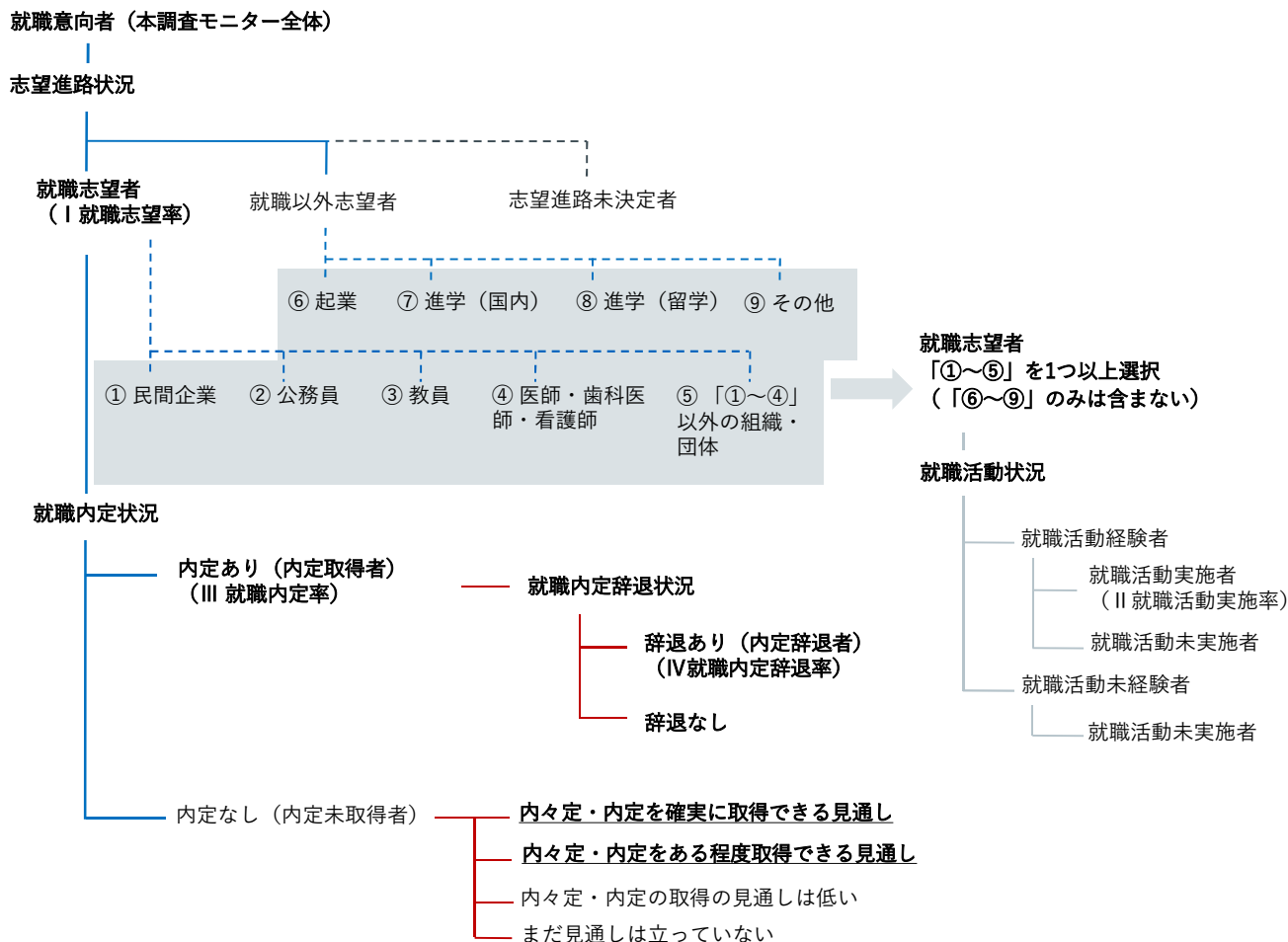
本調査対象については、以下を除いた

- 就職志望者のうち「②公務員」「③教員」「④医師・歯科医師・看護師」のみ選択した者
- 就職以外「⑥起業」「⑦進学(国内)」「⑧進学(留学)」「⑨その他」のみ選択した者

### 調査結果を見る際の注意点

- %を表示する際に小数点第2位で四捨五入しているため、%の合計が100%と一致しない場合がある

## 就職志望者から見た内定状況の構図



### <各率の算出方法> 【時点：「当該月1日時点」】

I 就職志望率	=	就職志望人数 ÷ 就職意向人数
II 就職活動実施率	=	就職活動実施人数 ÷ 就職志望人数
III 就職内定率	=	就職内定取得人数 ÷ 就職志望人数
IV 就職内定辞退率	=	就職内定辞退人数 ÷ 就職内定取得人数

### <用語の定義>

- 就職意向者 = 当初 (本調査モニター募集時) の志望進路が「就職」および「未決定」者
- 就職志望者 = 当月、就職を志望している者
- 就職活動実施者 = 当月、就職活動を実施している者 (※)
- 就職活動経験者 = 当月までに就職活動の経験がある者
- 就職内定取得者 = 当月までに内定 (内々定) の取得経験のある者
- 就職内定未取得者 = 当月までに内定 (内々定) の取得経験がない者
- 進路確定者 = 当月、進路が確定している者  
進路確定率 = 進路確定人数 ÷ 就職意向人数
- 就職確定者 = 当月、就職先が確定している者
- 就職内定辞退者 = 当月までに内定 (内々定) の辞退経験がある者

※就職活動実施状況について、「している」「していない」の選択肢のうち、「している」と回答した者